

平成30年度PRTRデータの概要（千葉市内分）について
 —化学物質の排出量・移動量の集計結果—

平成11年7月に公布された「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（化学物質排出把握管理促進法又はPRTR法）に基づき、国あてに事業者から届出があった平成30年度分の千葉市内の化学物質の排出量・移動量について、本年3月19日に国が公表したデータを基に市独自に集計した結果がまとまりましたので公表します。

今回は、同法施行後18回目の集計結果の公表で、その概要は以下に示すとおりです。

なお、国のホームページでは、個別事業所から届出のあった排出量等のデータ及び届出対象外の排出量の推計値を閲覧できます。

※PRTRデータに関するホームページ：<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>

I 平成30年度PRTRデータの集計結果

1. 集計結果の概要

(1) 届出事業所数（詳細はP.2）

千葉市（県内全体に占める割合）	千葉県	全国
159 事業所（12.8%）	1,240 事業所	33,669 事業所

(2) 届出排出量・移動量（詳細はP.3）

	千葉市（県内全体に占める割合）	千葉県	全国
届出排出量	595 トン（11.0%）	5,386 トン	148 千トン
届出移動量	2,940 トン（19.9%）	14,739 トン	243 千トン
届出排出量・移動量	3,535 トン（17.6%）	20,125 トン	391 千トン

(3) 千葉市内で届出排出量・移動量が多い物質（詳細はP.7 及び 8）

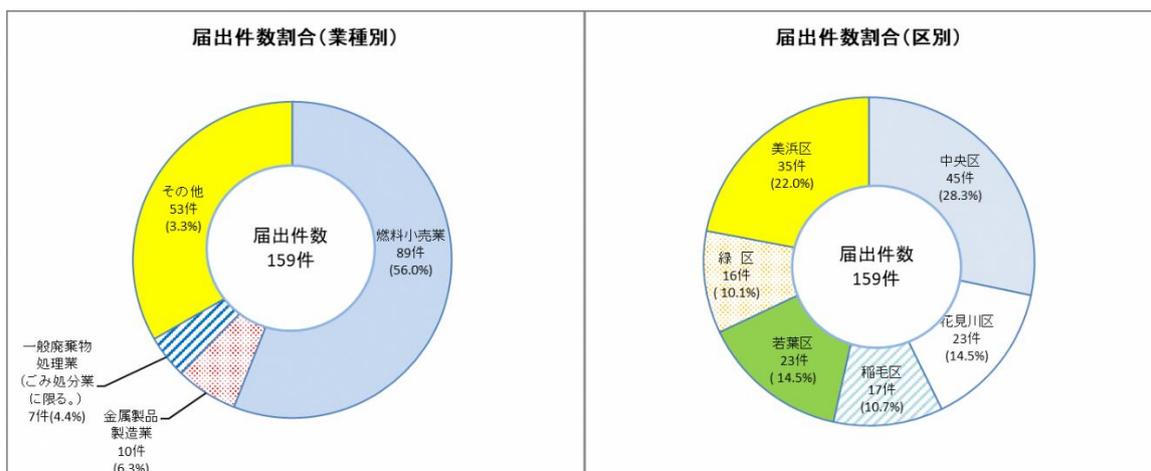
届出排出量 上位3物質（総排出量比）	① ノルマル-ヘキサン	146 トン（24.5%）
	② キシレン	122 トン（20.5%）
	③ トルエン	80 トン（13.4%）
届出移動量 上位3物質（総移動量比）	① 無水フタル酸	1,200 トン（40.8%）
	② クロム及び三価クロム化合物	1,001 トン（34.0%）
	③ キシレン	143 トン（4.8%）

2. 行政区・業種別の届出状況

本市においては、26業種・159事業所から届出があり、燃料小売業からの届出数が全体の56.0%を占めています。また、行政区別では、中央区が最も多く28.3%を占め、次いで美浜区、花見川区及び若葉区となっています。

(単位:事業所数、%)

業種名	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計	割合
金属鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
原油・天然ガス鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
製造業	16	4	5	2	2	9	38	23.9
食料品製造業	0	0	0	0	0	4	4	
飲料・たばこ・飼料製造業	0	0	0	0	0	0	0	
酒類製造業	0	0	0	0	0	0	0	
たばこ製造業	0	0	0	0	0	0	0	
繊維工業	0	0	0	0	0	0	0	
衣服・その他の繊維製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
木材・木製品製造業	0	1	0	0	0	0	1	
家具・装備品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
出版・印刷・関連産業	0	0	0	0	0	0	0	
化学工業	1	0	0	0	0	1	2	
塩製造業	0	0	0	0	0	0	0	
医薬品製造業	0	0	0	0	0	1	1	
農薬製造業	0	0	0	0	0	0	0	
石油製品・石炭製品製造業	2	0	0	0	0	0	2	
プラスチック製品製造業	1	0	0	0	0	1	2	
ゴム製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
なめし革・同製品・毛皮製造業	0	0	0	0	0	0	0	
窯業・土石製品製造業	1	0	0	1	0	0	2	
鉄鋼業	3	0	0	0	0	0	3	
非鉄金属製造業	2	0	2	0	0	0	4	
金属製品製造業	6	1	1	0	1	1	10	
一般機械器具製造業	0	1	2	0	1	0	4	
電気機械器具製造業	0	0	0	0	0	0	0	
電子応用装置製造業	0	0	0	0	0	0	0	
電気計測器製造業	0	0	0	0	0	0	0	
輸送用機械器具製造業	0	0	0	1	0	1	2	
鉄道車両・同部分品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
船舶製造・修理業、船用機関製造業	0	0	0	0	0	0	0	
精密機械器具製造業	0	0	0	0	0	0	0	
医療用機械器具・医療用品製造業	0	1	0	0	0	0	1	
武器製造業	0	0	0	0	0	0	0	
その他の製造業	0	0	0	0	0	0	0	
電気業	1	0	0	0	0	0	1	0.6
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
熱供給業	0	0	0	0	0	1	1	0.6
下水道業	1	0	0	0	0	2	3	1.9
鉄道業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
倉庫業	0	0	0	0	0	3	3	1.9
石油卸売業	1	0	0	0	0	1	2	1.3
鉄スクラップ卸売業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
自動車卸売業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
燃料小売業	22	15	10	16	12	14	89	56.0
洗濯業	0	0	0	1	0	2	3	1.9
写真業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
自動車整備業	0	0	0	0	0	2	2	1.3
機械修理業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
商品検査業	0	1	0	0	0	0	1	0.6
計量証明業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
一般廃棄物処理業(ごみ処分量に限る。)	1	1	0	4	0	1	7	4.4
産業廃棄物処分量	1	1	0	0	0	0	2	1.3
特別管理産業廃棄物処分量	0	0	0	0	0	0	0	0.0
医療業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
高等教育機関	1	0	1	0	0	0	2	1.3
自然科学研究所	1	1	1	0	2	0	5	3.1
合計	45	23	17	23	16	35	159	100.0



3. 届出排出量・移動量の集計結果

(1) 届出排出量・移動量の内訳

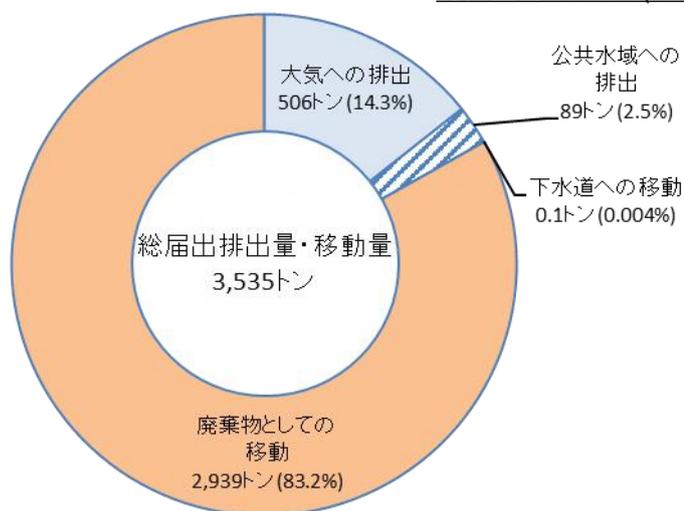
事業所から届出のあった総排出量及び総移動量の内訳は下図のとおりです。

排出量では、大気への排出が最も多く 506 トンで、全体の 14.3%を占めており、移動量では、そのほとんどが廃棄物としての移動で 2,939 トンでした。また、土壌への搬出及び事業所内における埋立処理の届出はありませんでした。

届出排出量・移動量の割合

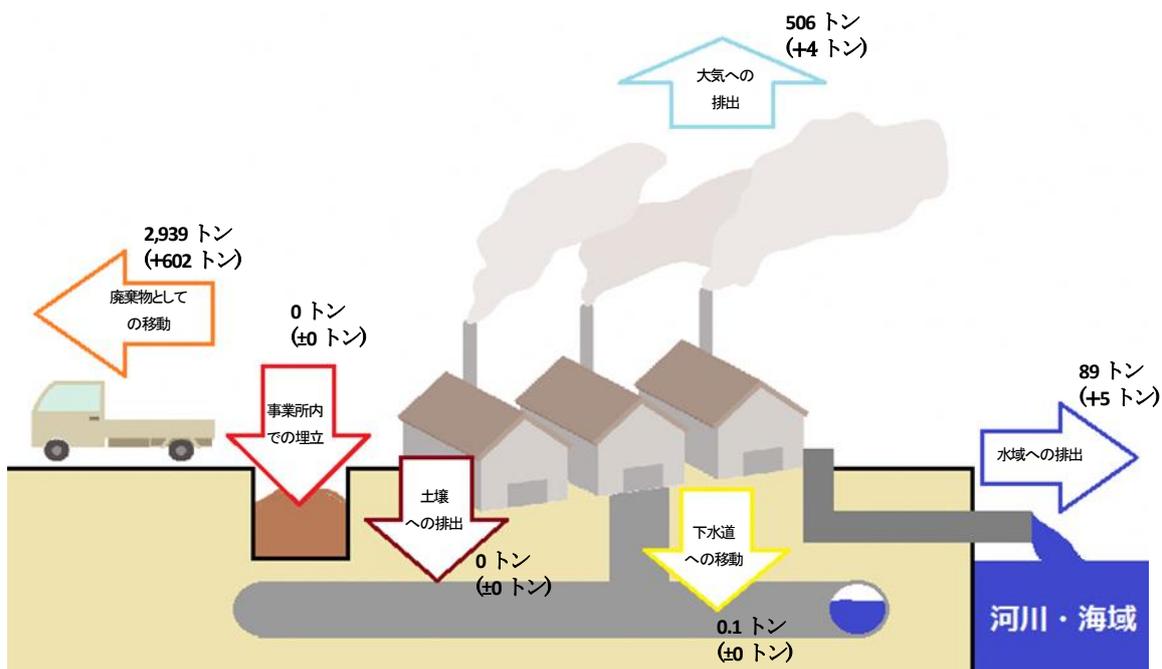
総移動量: 2,940トン(83.2%)

総排出量: 595トン(16.8%)



※ () 内は、総届出排出量・移動量に対する比率

排出量・移動量の区分



※ () 内は、前年度比

(2) 行政区別の排出量・移動量

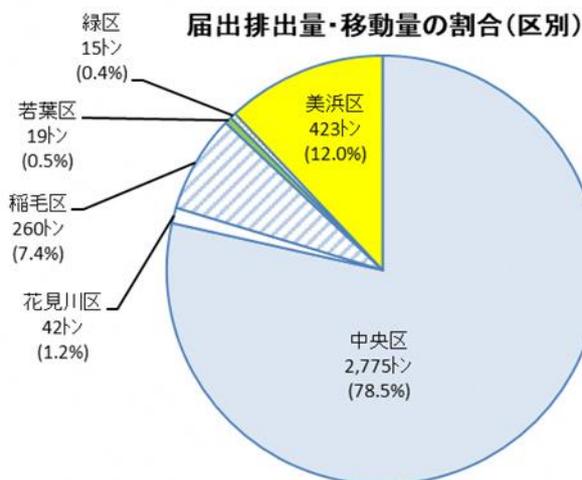
行政区別では、中央区が最も多く 78.5%を占め、次いで美浜区、稲毛区となっています。

区名	排出量(kg/年) ^{※1}				合計 ^{※3}	移動量(kg/年) ^{※2}			排出・移動量の合計 ^{※3}	割合(%)
	大気	水域	土壌	埋立		下水道	廃棄物	合計 ^{※3}		
中央区	162,709	58,947	0	0	221,655	0	2,553,573	2,553,573	2,775,229	78.5
花見川区	36,432	1	0	0	36,433	0	5,470	5,470	41,903	1.2
稲毛区	97,888	0	0	0	97,888	0	162,030	162,030	259,918	7.4
若葉区	16,620	309	0	0	16,930	0	2,120	2,120	19,050	0.5
緑区	10,633	0	0	0	10,633	0	4,620	4,620	15,253	0.4
美浜区	181,495	30,102	0	0	211,597	135	211,651	211,785	423,382	12.0
合計	505,778	89,359	0	0	595,137	135	2,939,464	2,939,599	3,534,735	100.0
割合(%)	14.3	2.5	0	0	16.8	0.004	83.2	83.2	100.0	

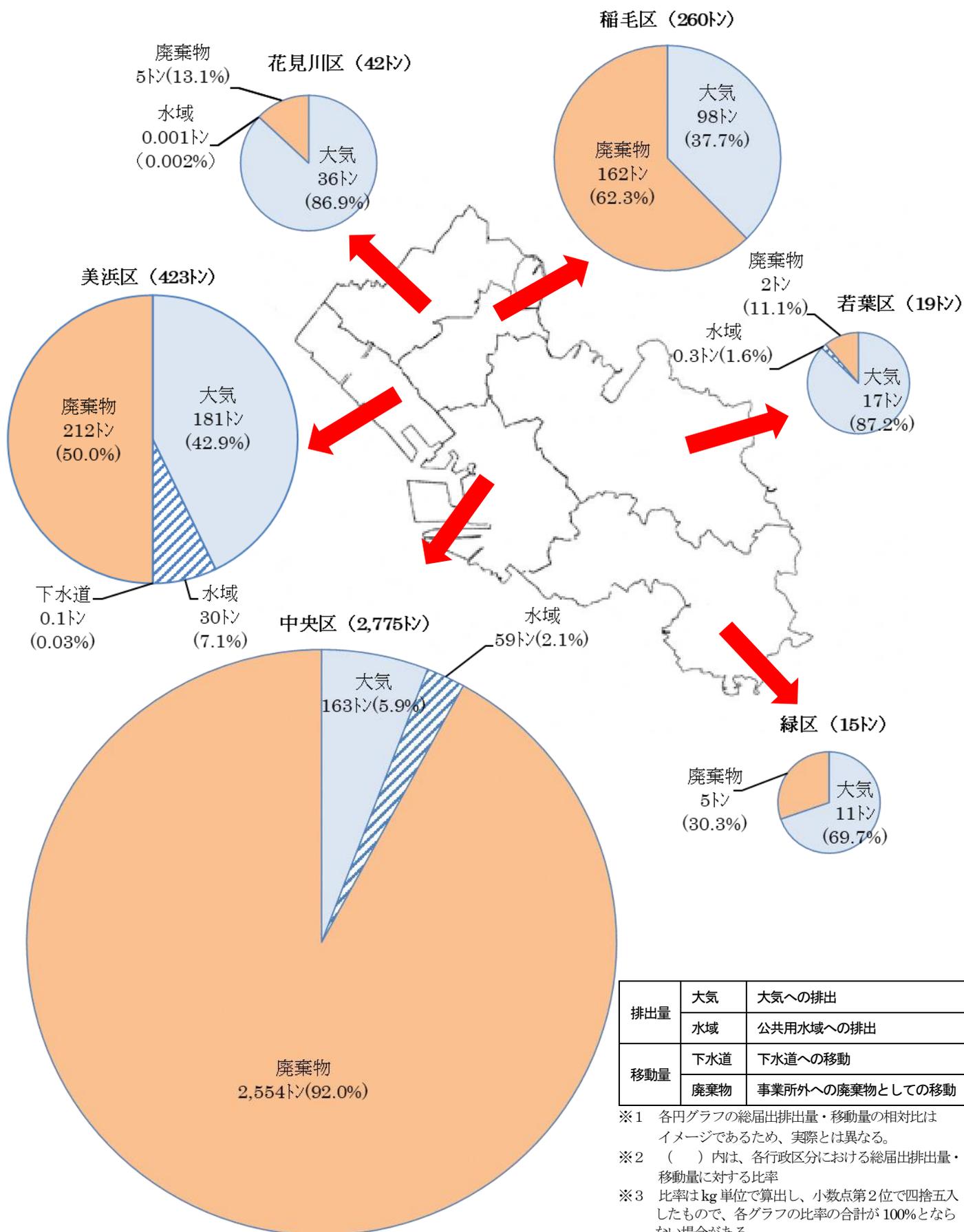
※1 大気：大気への排出 水域：公共用水域への排出 土壌：事業所内の土壌への排出 埋立：事業所内の埋立処分

※2 下水道：下水道への移動 廃棄物：事業所外への廃棄物としての移動

※3 排出量・移動量の合計は、各事業所からの届けられた該当データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、本集計表の排出量等の各欄を縦・横方向に合計した数値とは異なる場合があります。



各行政区別の届出排出量・移動量の割合



排出量	大気	大気への排出
	水域	公共用水域への排出
移動量	下水道	下水道への移動
	廃棄物	事業所外への廃棄物としての移動

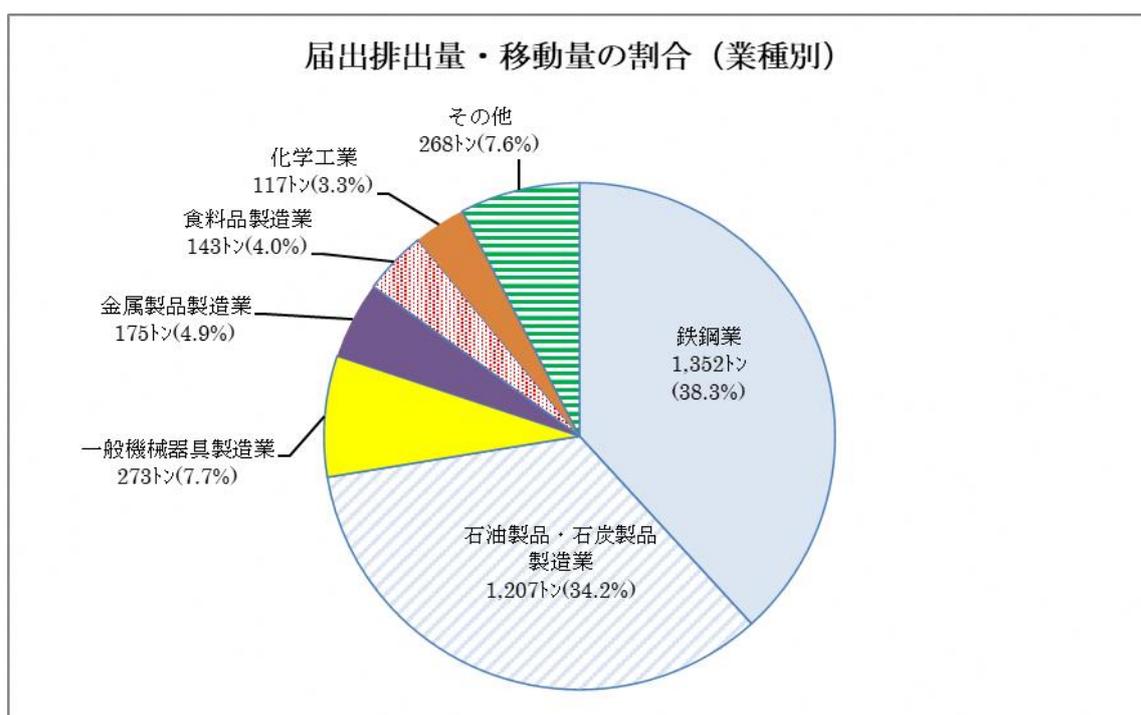
- ※1 各円グラフの総届出排出量・移動量の相対比はイメージであるため、実際とは異なる。
- ※2 () 内は、各行政区分における総届出排出量・移動量に対する比率
- ※3 比率はkg単位で算出し、小数点第2位で四捨五入したもので、各グラフの比率の合計が100%とならない場合がある。

(3) 業種別排出量・移動量

業種別の届出排出量・移動量の集計した結果が以下のとおりであり、鉄鋼業が最も多く 38.3%を占め、次いで石油製品・石炭製品製造業、一般機械器具製造業となっています。また、鉄鋼業の主な排出先・移動先は、事業所外への廃棄物としての移動でした。

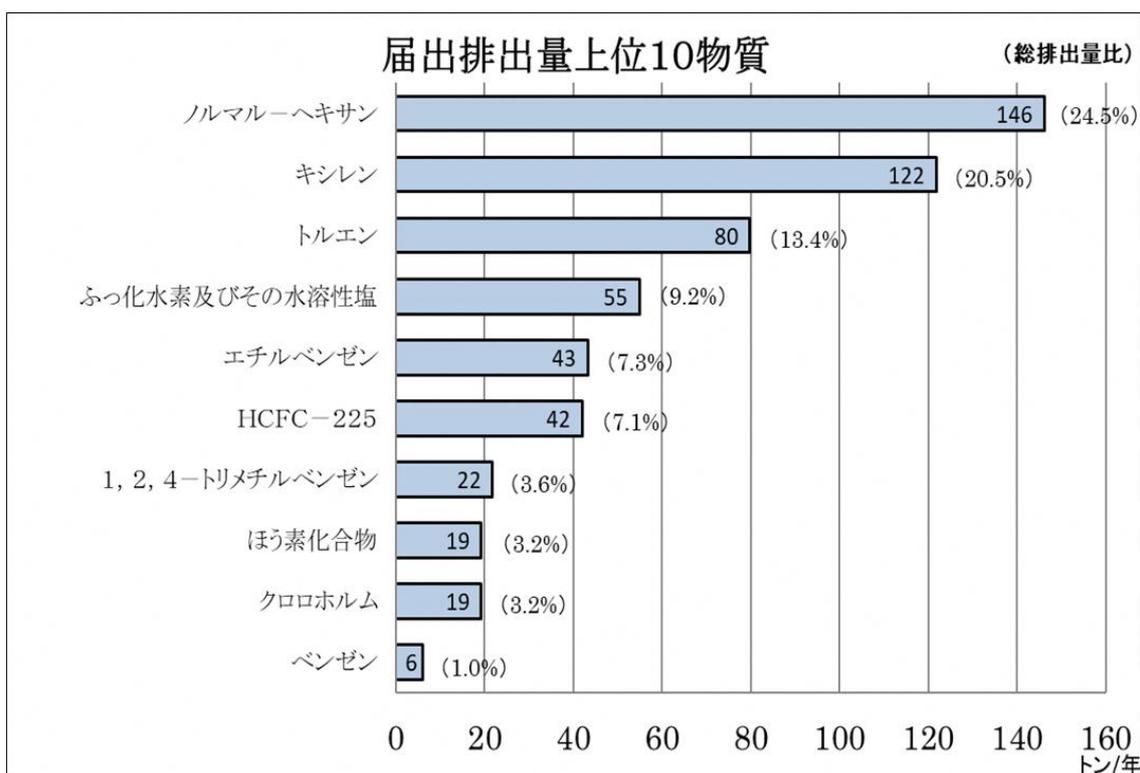
業種名	届出数	排出量(kg/年) ^{※1}					移動量(kg/年) ^{※2}			排出量・移動量の合計 ^{※3}	割合(%)
		大気	水域	土壌	埋立	合計 ^{※3}	下水道	廃棄物	合計 ^{※3}		
製造業	38	473,617	51,368	0	0	524,985	5	2,902,657	2,902,662	3,427,647	97.0
食料品製造業	4	141,200	0	0	0	141,200	0	1,610	1,610	142,810	4.0
木材・木製品製造業	1	6,700	0	0	0	6,700	0	710	710	7,410	0.2
化学工業	2	155	0	0	0	155	5	116,700	116,705	116,860	3.3
医薬品製造業	1	25,590	0	0	0	25,590	0	72,800	72,800	98,390	2.8
石油製品・石炭製品製造業	2	3,323	0	0	0	3,323	0	1,203,900	1,203,900	1,207,223	34.2
プラスチック製品製造業	2	0	100	0	0	100	0	0	0	100	0.0
窯業・土石製品製造業	2	138	0	0	0	138	0	252	252	390	0.0
鉄鋼業	3	52,794	51,267	0	0	104,061	0	1,248,246	1,248,246	1,352,307	38.3
非鉄金属製造業	4	1,800	0	0	0	1,800	0	35,915	35,915	37,715	1.1
金属製品製造業	10	110,130	1	0	0	110,131	0	64,444	64,444	174,575	4.9
一般機械器具製造業	4	114,580	0	0	0	114,580	0	158,080	158,080	272,660	7.7
輸送用機械器具製造業	2	12,007	0	0	0	12,007	0	0	0	12,007	0.3
医療用機械器具・医療用品製造業	1	5,200	0	0	0	5,200	0	0	0	5,200	0.1
電気業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
熱供給業	1	0	0	0	0	0	0	18,000	18,000	18,000	0.5
下水道業	3	0	37,493	0	0	37,493	0	0	0	37,493	1.1
倉庫業	3	100	0	0	0	100	0	0	0	100	0.0
石油卸売業	2	295	0	0	0	295	0	105	105	400	0.0
燃料小売業	89	21,861	0	0	0	21,861	0	0	0	21,861	0.6
洗濯業	3	2,700	0	0	0	2,700	130	2,770	2,900	5,600	0.2
自動車整備業	2	6,260	0	0	0	6,260	0	35	35	6,295	0.2
商品検査業	1	1	0	0	0	1	0	2,000	2,000	2,001	0.1
一般廃棄物処理業(ごみ処分量に限る。)	7	0	498	0	0	498	0	0	0	498	0.0
産業廃棄物処分量	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
高等教育機関	2	943	0	0	0	943	0	11,970	11,970	12,913	0.4
自然科学研究所	5	0	0	0	0	0	0	1,926	1,926	1,926	0.1
全業種合計	159	505,778	89,359	0	0	595,137	135	2,939,464	2,939,599	3,534,735	100.0
割合(%)		14.3	2.5	0.0	0.0	16.8	0.004	83.2	83.2	100.0	

※1～3については、3(2)行政区別の排出量・移動量と同じ



(4) 届出排出量の中で多い物質

届出排出量上位 10 物質の合計は 554 トンで、総届出排出量 595 トンの 93.1%にあたります。



※ HCFC-225 は、ジクロロペンタフルオロプロパンのことである。(これ以降も同様)

※ 集計値については、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

届出排出量上位 5 物質の主な業種と各物質の一般的な用途

順位	物質名	主な業種	届出排出量(kg)	主な用途
1	ノルマル-ヘキサン	食料品製造業	130,000	溶剤
		燃料小売業	13,091	
		医薬品製造業	1,700	
2	キシレン	一般機械器具製造業	69,900	合成原料、ガソリン・ 灯油成分、溶剤
		金属製品製造業	38,300	
		輸送用機械器具製造業	5,907	
3	トルエン	一般機械器具製造業	26,170	合成原料、ガソリン 成分、溶剤等
		金属製品製造業	19,800	
		食料品製造業	9,200	
4	ふっ化水素及びその水溶性塩	鉄鋼業	39,000	合成原料、金属・ガラ スの表面処理剤等
		下水道業	15,600	
		一般廃棄物処理業 (ごみ処分に限る。)	264	
5	エチルベンゼン	金属製品製造業	26,040	合成原料、溶剤
		一般機械器具製造業	13,900	
		鉄鋼業	1,890	

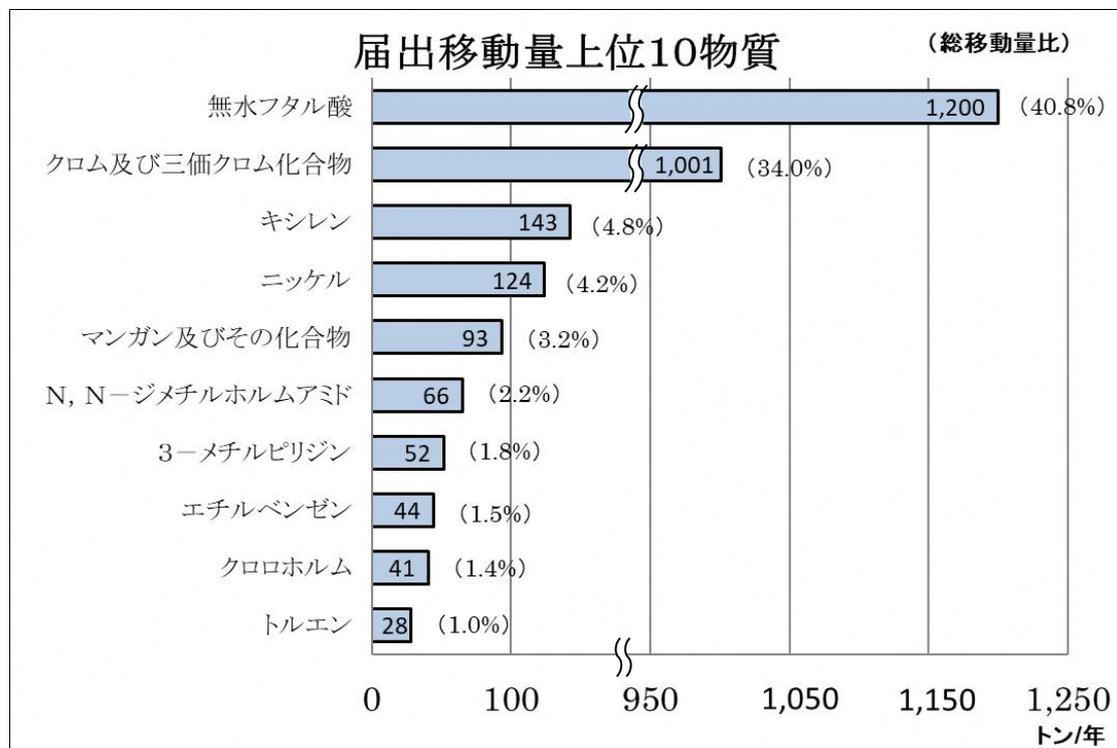
区別届出排出量上位5物質

(単位：kg)

区名	物質名	届出排出量	区名	物質名	届出排出量
中央区	①HCFC-225	42,000	若葉区	①キシレン	6,037
	②ふっ化水素及びその水溶性塩	39,084		②トルエン	5,848
	③キシレン	38,233		③ノルマルーヘキサン	2,427
	④エチルベンゼン	26,534		④エチルベンゼン	1,235
	⑤トルエン	20,055		⑤テトラクロロエチレン	700
花見川区	①トルエン	17,607	緑区	①トルエン	4,985
	②キシレン	7,870		②キシレン	2,707
	③フェノール	5,000		③ノルマルーヘキサン	1,898
	④ノルマルーヘキサン	2,803		④エチルベンゼン	838
	⑤エチレンジグリコールモノエチルエーテル	1,700		⑤ベンゼン	178
稲毛区	①キシレン	62,283	美浜区	①ノルマルーヘキサン	133,382
	②トルエン	15,866		②クロロホルム	19,000
	③エチルベンゼン	12,821		③ふっ化水素及びその水溶性塩	15,600
	④1, 2, 4-トリメチルベンゼン	2,220		④トルエン	15,421
	⑤ノルマルーヘキサン	1,702		⑤ほう素化合物	10,000

(5) 届出移動量の中で多い物質

届出移動量上位10物質の合計は2,792トンで、総届出移動量2,940トンの95.0%にあたります。



※ 集計値については、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

届出移動量上位 5 物質の主な業種と各物質の一般的な用途

順位	物質名	主な業種	届出移動量(kg)	主な用途
1	無水フタル酸 ^{※1}	石油製品・石炭製品 製造業	1,200,000	合成樹脂原料、合成 原料、ゴム薬品
2	クロム及び三価クロム化合物 ^{※2}	鉄鋼業	1,000,000	ステンレス鋼、メッ キ、顔料等
		金属製品製造業	660	
3	キシレン	一般機械器具製造業	121,100	合成原料、ガソリン・ 灯油成分、溶剤
		金属製品製造業	11,700	
		鉄鋼業	8,500	
4	ニッケル	鉄鋼業	90,000	メッキ、磁性材料、ス テンレス鋼、ニッケ ル鋼
		非鉄金属製造業	33,000	
		食料品製造業	990	
5	マンガン及びその化合物 ^{※3}	鉄鋼業	93,000	特殊鋼、電池、磁性材 料、酸化剤
		金属製品製造業	430	

※1 無水フタル酸については、1業種のみから届出があった。

※2 クロム及び三価クロム化合物については、2業種のみから届出があった。

※3 マンガン及びその化合物については、2業種のみから届出があった。

区別届出移動量上位 5 物質

(単位 : kg)

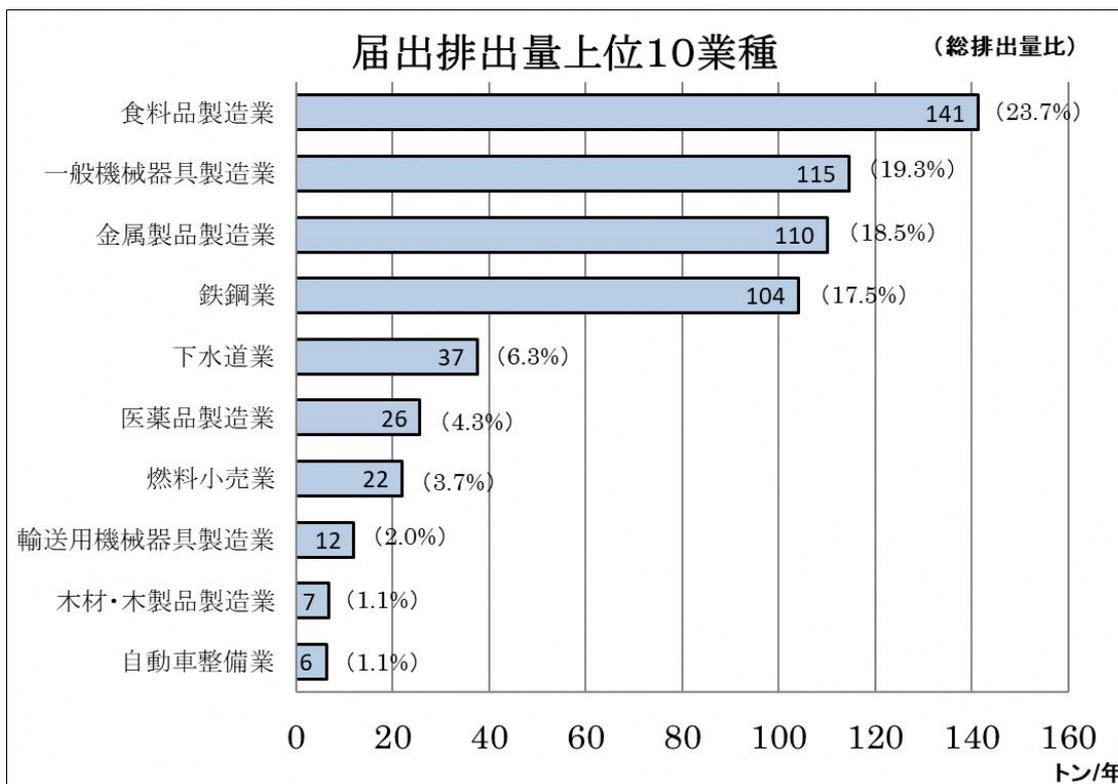
区名	物質名	届出排出量	区名	物質名	届出排出量
中央区	①無水フタル酸	1,200,000	若葉区 ※1	①テトラクロロエチレン	2,000
	②クロム及び三価クロム化合物	1,000,660		②フェノール	120
	③ニッケル	123,026	緑区 ※2	①トルエン	4,200
	④マンガン及びその化合物	93,220		②エチルベンゼン	310
	⑤ふっ化水素及びその水溶性塩	23,500		③キシレン	110
花見川区	①トルエン	3,500	美浜区	①N, N-ジメチルホルムアミド	65,503
	②キシレン	1,100		②3-メチルピリジン	52,002
	③フェノール	420		③クロロホルム	36,000
	④エチレングリコールモノエチルエーテル	290		④HCFC-22	18,000
	⑤エチルベンゼン	160		⑤1,4-ジオキサン	15,000
稲毛区	①キシレン	120,000			
	②エチルベンゼン	28,000			
	③トルエン	3,300			
	④クロロホルム	2,900			
	⑤ノルマルドデシルアルコール	2,700			

※1 若葉区の移動量については、2物質のみの届出があった。

※2 緑区の移動量については、3物質のみの届出があった。

(6) 届出排出量の中で多い業種

届出排出量上位 10 業種の合計は 580 トンで、総届出排出量 595 トンの 97.4%にあたります。



※ 集計値については、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

区別業種別届出排出量上位5種

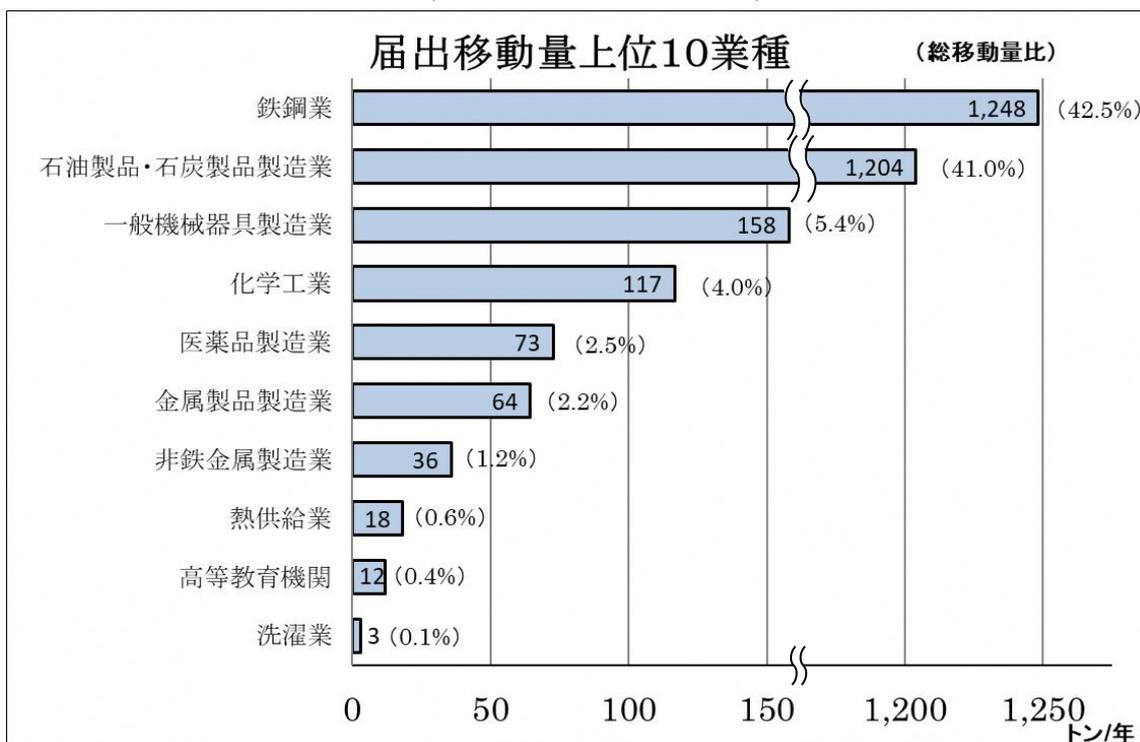
(単位：kg)

区名	物質名	届出排出量
中央区	①鉄鋼業	104,061
	②金属製品製造業	100,962
	③下水道業	7,391
	④燃料小売業	5,049
	⑤石油製品・石炭製品製造業	3,323
花見川区	①一般機械器具製造業	19,800
	②木材・木製品製造業	6,700
	③医療用機械器具・医療用品製造業	5,200
	④燃料小売業	4,731
	⑤金属製品製造業	1
稲毛区	①一般機械器具製造業	93,280
	②燃料小売業	2,390
	③非鉄金属製造業	1,800
	④高等教育機関	390
	⑤金属製品製造業	28
若葉区	①輸送用機械器具製造業	11,800
	②燃料小売業	4,010
	③洗濯業	700
	④一般廃棄物処理業 (ごみ処分業に限る。)	309
	⑤窯業・土石製品製造業	110
緑区	①金属製品製造業	6,010
	②燃料小売業	3,123
	③一般機械器具製造業	1,500
美浜区	①食料品製造業	141,200
	②下水道業	30,102
	③医薬品製造業	25,590
	④自動車整備業	6,260
	⑤金属製品製造業	3,130

※1 緑区の排出量については、3業種のみから届出があった。

(7) 届出移動量の中で多い業種

届出移動量上位 10 業種の合計は 2,933 トンで、総届出移動量 2,940 トンの 99.8%にあたります。



※ 集計値については、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

区別届出移動量上位 5 業種

(単位 : kg)

区名	物質名	届出移動量	区名	物質名	届出移動量
中央区	①鉄鋼業	1,248,246	若葉区 ※3	①洗濯業	2,000
	②石油製品・石炭製品製造業	1,203,900		②窯業・土石製品製造業	120
	③金属製品製造業	61,184	緑区 ※4	①自然科学研究所	1,900
	④非鉄金属製造業	33,215		②金属製品製造業	1,420
	⑤高等教育機関	6,870		③一般機械器具製造業	1,300
花見川区 ※1	①一般機械器具製造業	2,760	美浜区	①化学工業	116,705
	②商品検査業	2,000		②医薬品製造業	72,800
	③木材・木製品製造業	710		③熱供給業	18,000
稲毛区 ※2	①一般機械器具製造業	154,020		④金属製品製造業	1,630
	②高等教育機関	5,100		⑤食料品製造業	1,610
	③非鉄金属製造業	2,700			
	④金属製品製造業	210			

※1、4 花見川区及び緑区の移動量については、3業種のみから届出があった。

※2 稲毛区の移動量については、4業種のみから届出があった。

※3 若葉区の移動量については、2業種のみから届出があった。

II 平成30年度データと前年度までのデータの比較

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）に基づき事業者から届出のあった排出量及び移動量の集計結果は、以下のとおりです。

1. 届出事業所数

届出のあった事業所数は、下表のとおりで、平成30年度は159事業所で前年度より1事業所増加しました。

2. 届出排出量・移動量

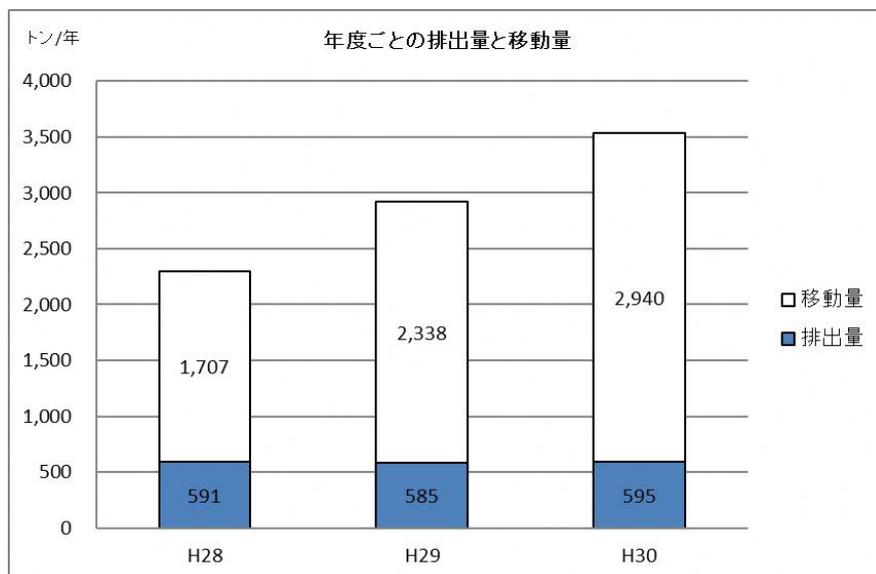
平成30年度分の届出排出量・移動量の合計は3,535トンで前年度より612トン増加しました。排出量については595トンで前年度より10トン増加、移動量については2,940トンで前年度より602トン増加しました。

届出排出量・移動量の経年変化

単位:kg/年

排出先		H28年度	H29年度	H30年度	前年度比増減
排出量	大気	499,962	501,363	505,778	+4,415
	公共用水域	90,807	83,922	89,359	+5,437
	土壌	0	0	0	±0
	埋立処分	0	0	0	±0
	合計	590,769	585,285	595,137	+9,852
移動量	下水道	124	144	135	-9
	廃棄物	1,706,585	2,337,640	2,939,464	+601,824
	合計	1,706,709	2,337,785	2,939,599	+601,814
排出量・移動量の合計		2,297,478	2,923,070	3,534,735	+611,665
届出事業所数		164	158	159	+1

※ 排出量・移動量の合計は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、本集計表の排出量等の各欄を合計した数値とは異なる場合がある。



(1) 業種別の届出排出量・移動量

平成28年度から30年度の届出排出量・移動量の業種別経年変化は次のとおりです。

届出排出量・移動量の業種別経年変化

単位:kg/年

業種名	排出量・移動量の合計		
	H28	H29	H30
製造業	2,197,840	2,816,701	3,427,647
食料品製造業	124,790	139,700	142,810
木材・木製品製造業	8,470	9,070	7,410
化学工業	100,841	110,784	116,860
医薬品製造業	114,320	79,470	98,390
石油製品・石炭製品製造業	3,856	505,049	1,207,223
プラスチック製品製造業	88	90	100
窯業・土石製品製造業	486	447	390
鉄鋼業	1,367,689	1,481,700	1,352,307
非鉄金属製造業	21,765	31,771	37,715
金属製品製造業	169,447	172,853	174,575
一般機械器具製造業	267,550	269,050	272,660
輸送用機械器具製造業	12,438	12,317	12,007
医療用機械器具・医療用品製造業	6,100	4,400	5,200
電気業	0	23,000	0
熱供給業	0	-	18,000
下水道業	38,894	31,096	37,493
倉庫業	3,010	1,170	100
石油卸売業	127	139	400
燃料小売業	23,634	22,276	21,861
洗濯業	6,000	5,820	5,600
自動車整備業	11,312	6,391	6,295
商品検査業	2,001	2,001	2,001
一般廃棄物処理業(ごみ処分業に限る。)	679	451	498
産業廃棄物処分業	0	0	0
高等教育機関	12,660	12,709	12,913
自然科学研究所	1,322	1,318	1,926
全業種合計	2,297,478	2,923,070	3,534,735

※ 排出量・移動量の合計は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、本集計表の排出量等の各欄を合計した数値とは異なる場合がある。

※ 表中「-」は当該年度に届出なしを示す。

(2) 届出排出量上位5物質

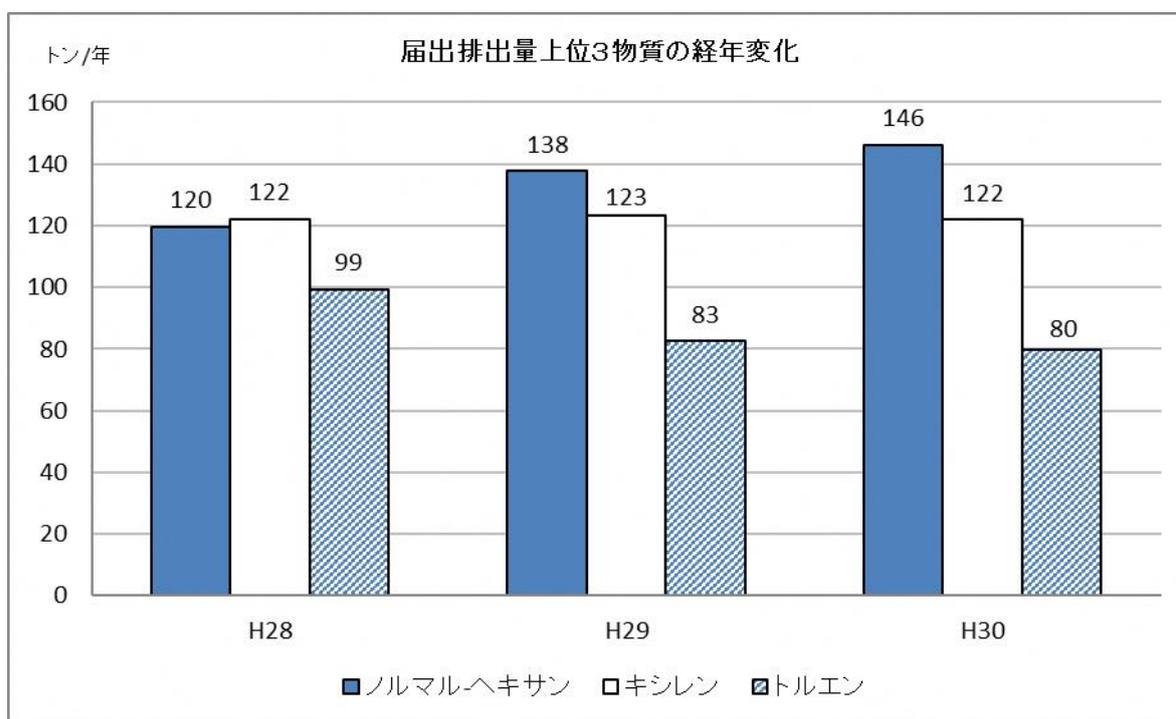
平成30年度分の届出排出量の上位5物質の合計は446トンで前年度より13トン増加しました。

物質別にみると、上位5物質中、ノルマル-ヘキサン、ふっ化水素及びその水溶性塩の2物質が前年度より増加、キシレン、トルエン、エチルベンゼンの3物質が前年度より減少しました。

届出排出量上位5物質の経年変化

順位	物質番号	物質名	届出排出量		
			H28	H29	H30
1	392	ノルマル-ヘキサン	119,699	137,664	146,071
2	80	キシレン	122,043	123,227	121,835
3	300	トルエン	99,286	82,526	79,781
4	374	ふっ化水素及びその水溶性塩	48,753	46,243	54,864
5	53	エチルベンゼン	39,314	43,288	43,225
上位5物質の合計			429,095	432,948	445,776
市全体			590,769	585,285	595,137

※ 表中の順位は平成30年度の順位を基にしており、各年度の順位の実際とは異なる。平成30年度以外の上位5物質の合計は表中の物質の合計値である。



(3) 届出移動量上位5物質

平成30年度分の届出移動量の上位5物質の合計は2,561トンで前年度より585トン増加しました。

物質別にみると、上位5物質中、無水フタル酸、キシレン、ニッケルの3物質が前年度より増加、クロム及び三価クロム化合物、マンガン及びその化合物の2物質が前年度より減少しました。

届出移動量上位5物質の経年変化

単位:kg/年

順位	物質番号	物質名	届出移動量		
			H28	H29	H30
1	413	無水フタル酸	0	500,000	1,200,000
2	87	クロム及び三価クロム化合物	1,000,570	1,100,520	1,000,660
3	80	キシレン	135,877	136,604	142,533
4	308	ニッケル	102,322	108,118	124,016
5	412	マンガン及びその化合物	100,560	130,550	93,430
上位5物質の合計			1,339,329	1,975,792	2,560,639
市全体			1,706,709	2,337,785	2,939,599

※ 表中の順位は平成30年度の順位を基にしており、各年度の順位の実際とは異なる。平成30年度以外の上位5物質の合計は表中の物質の合計値である。

